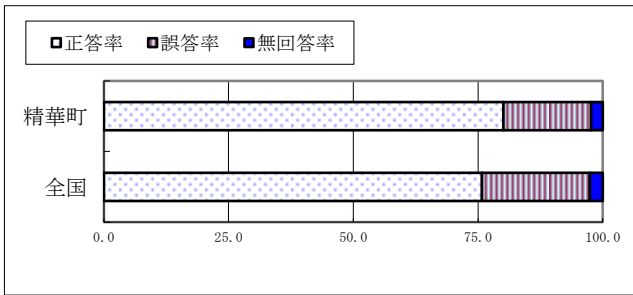


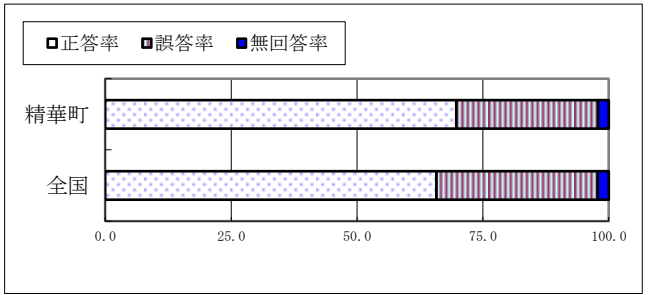
中学校国語科

正答率の比較

A問題



B問題

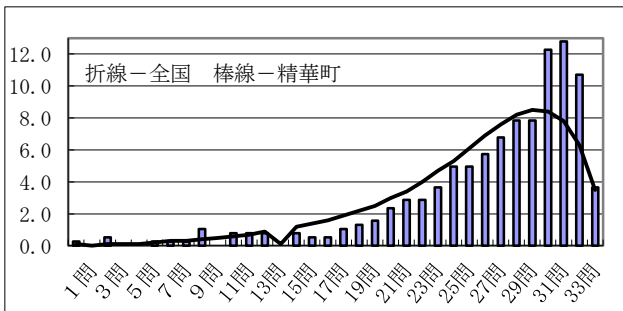


- 国の状況
正答率は75.8%であり、多くの生徒が基礎的基本的な内容が習得できていると言えます。
- 精華町の状況
正答率が80%を超える高い値であり、良好な結果であると言えます。

- 国の状況
65%を超える正答率であり、概ね学習内容が理解できていると思われます。
- 精華町の状況
正答率は全国を上回っているおり、学習成果が見られます。

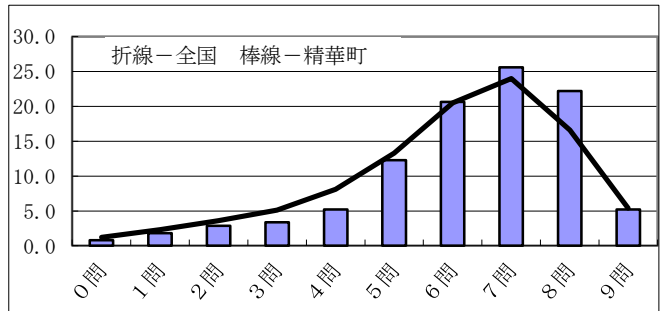
正答数の分布比較

A問題



- 国の状況
正答数は29問をピークに右寄りの正規分布を示しています。
- 精華町の状況
全国との関係において、30問以上の正解者の割合が高い反面、下位層にも分布が見られます。

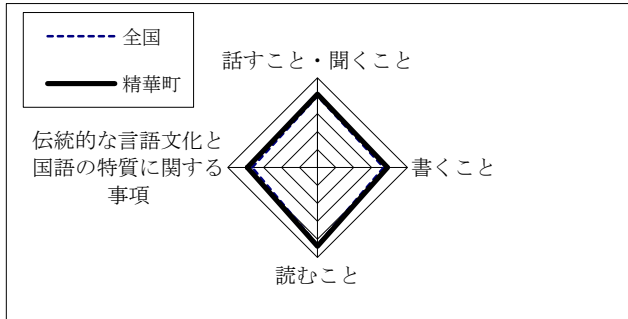
B問題



- 国の状況
正答数7問をピークとして、山型の正規分布を示しています。
- 精華町の状況
全国との比較では、7問~8問をピークにやや右寄りの正規分布を示しています。

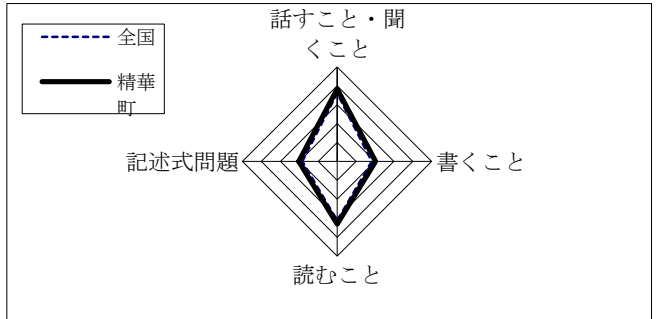
領域・観点等の比較

A問題



- 国の状況
4つの領域において、概ねバランスよく力がついていると言えます。
- 精華町の状況
全国との比較において、すべての領域で上回っています。

B問題



- 国の状況
「書くこと」の領域や記述問題においては、他の領域より正答率が少し低い傾向が見られます。
- 精華町の状況
全ての領域で全国を上回っていますが、「書くこと」の領域や記述問題では課題が見られます。